

平成9年度 年報

事業報告

展覧会事業

・常設展

第1期 1997. 4/1(火)～7/13(日)

前期 4/1(火)～5/18(日) 後期 5/20(火)～7/13(日)

展示室1 前期 新収蔵品を中心に

後期 日本画に見る心象風景

展示室2 新収蔵品と油絵に見る心象風景

展示室3 前期 ジャポニスムとジャポネズリ I

後期 ジャポニスムとジャポネズリ II

第2期 1997. 7/15(火)～10/12(日)

前期 7/15(火)～8/31(日) 後期 9/2(火)～10/12(日)

展示室1 前期 金と銀

後期 明治・大正の日本画

展示室2 絵肌(マチエール)の表現

展示室3 前期 木版画の魅力

後期 水彩画の魅力

第3期 1997. 10/17(金)～12/23(火)

前期 10/17(金)～11/16(日) 後期 11/18(火)～12/23(火)

展示室1 花と鳥

展示室2 人物を描く

展示室3 前期 特集展示 渡辺義雄

後期 特集展示 濱谷 浩

第4期 1998. 1/4(日)～3/25(水)

前期 1/4(日)～2/15(日) 後期 2/17(火)～3/25(水)

展示室1 前期 土田麦僊の素描 I

後期 土田麦僊の素描Ⅱ

展示室2 特集展示 佐藤哲三

展示室3 宮芳平〈聖地巡礼シリーズ〉を中心に

・所蔵品展「新潟の作家たち」

1998. 2/3(火)～3/15(日)

・企画展(詳細はトップページの「今までの企画展」をご覧ください)

1997. 4/12(土)～5/18(日)

国立西洋美術館展

1997. 5/28(水)～7/12(土)

アムステルダム市立美術館コレクション展

1997. 9/13(土)～10/12(日)

近代日本画への模索と展開

1997. 11/1 (土)～12/14(日)

中村 彝展

・館外での企画展

1997. 4/10(木)～4/22(火)(新潟大和デパート)

マナブ間部展

・新潟県民会館ギャラリーでの企画展

1998. 2/28(土)～3/22(日)

シリーズ新潟の美術 '98

・共催展

第 52 回新潟県美術展覧会 長岡展

1997. 7/20(日)～27(日) 新潟県立近代美術館

第 28 回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展

1998. 1/4(日)～1/15(木) 新潟県立近代美術館

普及事業

・巡回ミュージアム

当館の収集活動の成果を披露するとともに、広く県民に美術鑑賞の機会を提
供し、文化
振興をはかるために所蔵作品より 30 点を選定し実施。

1997. 9/8(月)～9/17(水) 妙高ふれあいパーク総合体育館

1997. 9/21(日)～9/30(火) 中条町産業文化会館

・講演会等のイベント

1997. 4/12(土) 国立西洋美術館展 特別記念講演会(第 1 回)

講師 高階秀爾(国立西洋美術館長)

演題 「西洋近代美術の流れ」

1997. 4/26(土) 国立西洋美術館展 特別記念講演会(第 2 回)

講師 前川誠郎(当館館長)

演題 「西洋美術館と版画コレクション」

1997. 6/14(土) アムステルダム市立美術館コレクション展 講演会

講師 谷 新(宇都宮美術館長)

演題 「20 世紀美術の展開 セザンヌ、ファン・ゴッホから現在の動向まで」

1997. 9/20(土) 近代日本画への模索と展開展 記念講演会

講師 横山秀樹(当館普及係長)

演題 「初期日本美術院と新潟」

1997. 9/27(土) 近代日本画への模索と展開展 公開座談会

講師 大熊敏之(宮内庁三の丸尚蔵館研究員)

松浦あき子(日本美術院百年史編さん室主幹)

横山秀樹(当館普及係長)

演題 「明治後期の日本画を語る」

1997. 11/22(土) 中村彝展講演会

講師 浅野徹(愛知県美術館長)

演題 「中村彝の芸術」

1998. 3/8(日) シリーズ新潟の美術 '98 シンポジウム

会場 新潟県民会館3階ロビー

テーマ「新潟の美術への提言 新潟の美術を取り巻く現状と今後の課題」

パネリスト 丹治嘉彦(新潟大学教授 出品作家)

大倉 宏(美術評論家)

野上公平(新潟県美術家連盟理事長 出品作家)

丸田洋一(新潟県文化振興財団副参事)

コーディネーター 宮崎俊英(新潟県立近代美術館主任学芸員)

・ミュージアムコンサート

1997. 11/8(土) 水野淳子／テーム・ホルマ デュオコンサート

演奏家 水野淳子(ピアノ)・テーム・ホルマ(ピアノ)

会場 当館講堂

1998. 2/22(日) 橋本一子ソロ・コンサート

演奏家 橋本一子(ピアノ、ギター)

曲目 星に願いを

いつか王子様が

ミシェル

遙かなる影

3月の水

トリステ

イパネマの娘

ル・ヴァン

即興演奏

会場 当館ギャラリー

・映画鑑賞会

第1回 1997. 6/14(土) 展覧会関連企画

(アムステルダム市立美術館コレクション展)

「ニュー・ペインティングの旗手たち

1980年代の6人の画家 A NEW SPIRIT IN PAINTING」

第2回 1997. 7/12(土) アート・ドキュメンタリー 芸術の世界

「ボルタンスキーを探して

A La Recherche de Christian B.」

第3回 1997. 8/9(土) 実験映画 シリーズ・動きの魔法 3

「ジョルジュ・シュウイツゲーベルの世界」

「遠くを見れない男」

第4回 1998. 1/10(土) 名作

「市民ケーン」

第5回 1998. 2/14(土) 巨匠の名画

「人情紙風船」

「浮雲」

第6回 1998. 3/14(土) 親子で楽しむ映画

「101」

・その他のイベント

アムステルダム市立美術館コレクション展「おしゃべりギャラリー」
一般募集した6名の方に作品への思いを会場で語っていただいた。

第1回 1997. 6/8(日) 午後2時～

第2回 1997. 6/22(日) 午後2時～

・講座

美術館鑑賞講座

第1回 1997. 8/23(土) 講師 宮下東子(当館美術学芸員)

「素材を知る 金と銀」(実技と作品鑑賞)

第2回 1998. 1/24(土) 講師 平石昌子(当館美術学芸員)

「クロード・モネの絵画」

第3回 1998. 2/7(土) 講師 桐原 浩(当館美術学芸員)

「マックス・ベックマン 自己への視線」

第4回 1998. 2/21(土) 公開講座

第1部「新潟の作家たち その美術土壌の特異性について」

講師 久保尋二(新潟大学名誉教授)

第2部「描くこと、生きるということ」

講師 福岡奉彦(画家 上越教育大学助教授)

第5回 1998. 3/7(土) 講師 松矢国憲(当館美術学芸員)

「書と絵画の交流 '50年代にみる」

第6回 1998. 3/15(日) 講師 宮崎俊英(当館主任学芸員)

「キャンバスに注目」

美術講座 当館講堂にて

1997. 11/29(土) 講師 小見秀男(当館学芸係長)

「中村彝・洲崎義郎・柏崎」

音楽鑑賞講座 「私の好きなレコード・CD」

講師 前川誠郎(当館館長) 当館講堂にて

第1回 1997. 12/13(土) ストラヴィンスキーとシューベルト

第2回 1998. 1/31(土) プロコフィエフとシューベルト

第3回 1998. 2/28(土) ベルリオーズの「ロメオとジュリエット全曲」

第4回 1998. 3/21(土) レハールの喜歌劇「メリー・ウイドウ」

・作品解説会

国立西洋美術館展

1997. 4/16(水)作品解説会(平石昌子 当館美術学芸員)

1997. 4/23(水)作品解説会(桐原浩 当館美術学芸員)

1997. 4/30(水)作品解説会(桐原浩 当館美術学芸員)

1997. 5/3(土)友の会作品鑑賞会(平石昌子 当館美術学芸員)

1997. 5/7(水)作品解説会(桐原浩 当館美術学芸員)

1997. 5/14(水)作品解説会(平石昌子 当館美術学芸員)

1997. 5/18(日)ギャラリートーク(前川誠郎 当館館長)

アムステルダム市立美術館コレクション展

1997. 6/8(日)作品解説会(佐々木奈美子 当館美術学芸員)

1997.6/8(日) おしゃべりギャラリー(公募による6名の一般の方と担当者)

1997. 6/22(日)作品解説会(藤田裕彦 当館美術学芸員)

1997. 6/22(日)おしゃべりギャラリー(公募による6名の一般の方と担当者)

近代日本画への模索と展開展

1997. 9/13(土)作品解説会(池井由香子 当館美術学芸員)

1997. 9/28(日)友の会作品鑑賞会(横山秀樹 当館普及係長)

1997. 10/4(土)作品解説会(横山秀樹 当館普及係長)

1997.10/11(土)作品解説会(池井由香子 当館美術学芸員)

中村彝展

- 1997. 11/5(水)作品解説会(小見秀男 当館学芸係長)
- 1998. 11/12(水)作品解説会(小見秀男 当館学芸係長)
- 1998. 11/19(水)作品解説会(小見秀男 当館学芸係長)
- 1998. 11/22(土)友の会作品鑑賞会(小見秀男 当館学芸係長)
- 1998. 11/26(水)作品解説会(松矢国憲 当館美術学芸員)
- 1998. 12/3(水)作品解説会(松矢国憲 当館美術学芸員)
- 1998. 12/10(水)作品解説会(小見秀男 当館学芸係長)

・レファレンス

ロビーの一角にレファレンスコーナーを設け、美術書を備え、来館者が自由に閲覧できるように提供。

- 「世界の巨匠シリーズ」全 55 巻 美術出版社
- 「世界の巨匠シリーズ別巻」全 5 巻 美術出版社
- 「日本の水彩画」全 20 巻 第一法規
- 「日本美術全集」全 23 巻 講談社
- 「東山魁夷」全 5 巻 講談社
- 「世界の大遺跡」全 13 巻 講談社
- 「20 世紀日本の美術」全 18 巻 集英社
- 「平山郁夫全集」全 7 巻 講談社
- 「現代日本の陶芸」全 10 巻 淡交社
- 「岩波 世界の巨匠」全 12 巻 岩波書店
- 「岩波美術館」全 24 巻 岩波書店
- 「国際版 世界の美術館」全 15 巻 講談社
- 「エドワード・ホッパー」ベネディクト・タッシェン出版
- 「アンリ・マティス」ベネディクト・タッシェン出版
- 「トゥールーズ・ロートレック」ベネディクト・タッシェン出版
- 「ポール・ゴーガン」ベネディクト・タッシェン出版
- 「クロード・モネ」ベネディクト・タッシェン出版
- 「現代美術」ベネディクト・タッシェン出版
- 「新潟県立近代美術館 所蔵品目録」1993
- 「大光コレクション展」1993
- 「野間コレクションとその時代展」1993
- 「ベルギー現代美術館」1993-94
- 「佐々木象堂とモダニズム」1994

「シリーズ新潟の美術 '94」1994
「シカゴ美術館展」1994
「カール・ラーション展」1994
「山種美術館展」1994
「佐藤哲三展」1995
「シリーズ新潟の美術 '95」1995
「ヨーロッパ工芸新世紀展」1995
「子どものための美術展'95」1995
「金鈴社の五人展」1995
「中国現代絵画名作展」1995
「新潟県立近代美術館 研究紀要 第1号」1995
「ボテロ展」1996
「エルミターージュ美術館特別名品展」1996
「戦後の書・その一変相 江口草玄」1996
「横山操・加山又造展」1997
「シリーズ新潟の美術 '97」1997
「新潟県立近代美術館 研究紀要 第2号」1997

・刊行物

平成9年度展覧会案内リーフレット（A4 三つ折り カラー 40,000部）
各展覧会図録
国立西洋美術館展
2,000円（A4版変形 本文166ページ）
近代日本画への模索と展開展
2,000円（280×225mm 本文146ページ 2,000部）
中村彝展 2,500円（A4版 本文90ページ）
洲崎義郎宛書簡 140ページ 2,000部）
シリーズ新潟の美術 '98 1,300円（本文90ページ 1,000部）
巡回ミュージアム鑑賞の手引き（B6 4,100部）
コレクションガイド Vol.3 200円（A5 12ページ 絵はがき8枚 6,000部）
新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」第8号（A4 8ページ 5,000部）
新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」第9号（A4 8ページ 3,000部）
研究紀要 第3号（A4 56ページ 700部）
企画展鑑賞資料
アムステルダム市立美術館コレクション展鑑賞シート（B5版 5,000部）
中村彝展鑑賞資料（A4 5,000部）

・ハイビジョンシステム 無料

ギャラリーⅠ 110 インチの大型画面 40 席

ギャラリーⅡ 60 インチの中型画面 4 席（車椅子スペース有り）

上映番組

・新潟県立近代美術館オリジナル番組(10)

- 1 カリアティードとアトランド オーギュスト・ロダン
- 2 新しい絵画への予言 ポール＝エリー・ランソン
- 3 創造と抵抗のはざままで ケーテ・コルヴィッツ
- 4 日本洋画の開拓者たち 大光コレクション戦前編
- 5 近代日本洋画の黎明 小山正太郎とフォンタネージ
- 6 北蒲原に生きた画家 佐藤哲三
- 7 館所蔵品に見る近代日本画の画家たち

8 内なる心の美 土田麦僊

9 情熱と行動の画家 横山操

10 蠟型鑄造の世界 新潟の金工

・美術の楽しみ(10)

・連作の魅力(12)

・都市の表情(4)

・オルセー美術館Ⅰ(9)

・シカゴ美術館

・エルミターージュ美術館

・データブース 無料

32 インチ画面 ペンタブレット方式

所蔵品の内 1,500 作品について検索可能 文字情報は印刷可

・観覧料免除

新潟県内の小・中・高等学校での教育課程に基づく教育活動としての生徒と引率者、及び心身障害者の介助者・医療担当者等に対し、観覧料を免除。

免除者数 5,979 名

収集・保存

平成 9 年度「前期」の収集

「日本の美術」

- 日本画 竹内栖鳳「睡郷」1930 紙本彩色 軸 69.5×86.5
日本画 西脇順三郎「万代橋風景」1941 頃 紙本彩色 二曲一隻屏風 171.0×82.5
洋画 河原 温「JAN.1.1975」1975 ミクストメディア 25.5×33.0
書 江口草玄「窟」1956 墨 紙 134.0×124.5
版画 「誌と版画」Ⅷ 第一回展覧会号、誌と版画社 1924 年 11 月 冊子
版画 深澤索一「灘スケッチ」1924 2 色刷木版画 16.6×10.8
版画 塚本繁「向日葵」1924 単色刷木版画 17.1×13.7
版画 「版画」白と黒社 1933 冊子 27.8×20×2.2
版画 谷中安規「祭り」1933 2 色刷木版画 14.5×18.2
版画 川上澄生「かまきり」1933 2 色刷木版画 15.2×10.7
版画 畦地梅太郎「人」1933 2 色刷木版画 11.8×17.4
版画 前川千帆「小品」1933 多色刷木版画 5.8×7.9
版画 深澤索一「築地風景」1933 多色刷木版画 10.9×15.5
版画 恩地孝四郎「新膚」1933 3 色刷木版画 22.1×14.6
版画 藤森静雄「静日」1933 多色刷木版画 9.5×13.5
版画 川上澄生「郵便脚夫」1933 単色刷木版画 16.0×12.0
版画 棟方志功「扇、数々を増す」1933 3 色刷木版画 14.0×16.5
版画 谷中安規「影絵芝居」13 点組 1932 秋 単色刷木版画
版画 平塚運一「木崎湖」1933 単色刷木口木版画 10.0×12.4
版画 平塚運一「机上小禽」1933 単色刷木口木版画 11.8×12.2
版画 平塚運一「きつつき」1933 単色刷木口木版画 11.4×7.0
版画 平塚運一「のげし」1933 単色刷木口木版画 17.0×7.0
版画 平塚運一「牡丹」1933 単色刷木口木版画 10.4×10.4
版画 平塚運一「だるま」1933 2 色刷木版画 13.2×8.5
版画 棟方志功「櫻」1933 単色刷木版画 9.1×13.5
版画 深澤索一「新東京百景」昭和通ガソリンや 1931 多色木版画 18.1×24.3
版画 深澤索一 薬師寺付近 1933 多色木版画 36.5×45.2
版画 深澤索一 年賀状 1936 葉書(木版画)14.0×9.0
版画 深澤索一 年賀状 1937 葉書(多色木版画)14.5×9.3

平成9年度「後期」の収集

「世界の美術」

パステル J・T・トーロップ「聖アウグスティヌスの祝福」1915

鉛筆、パステル、コンテ、紙 76.2×62.9

版画 A・デューラー「大受難伝」第3葉 オリーブ山上のキリスト

1497~1500 第2版(1511刊行) 木版画 手彩色 39.2×28.0

版画 A・デューラー「大受難伝」第4葉 キリスト捕縛

1510 第2版(1511刊行) 木版画 手彩色 39.6×27.8

版画 A・デューラー「組紐文」第6葉 1505~07 初版 木版画 27.2×21.2

版画 E・マネ「マクシミリアンの処刑」1868 リトグラフ 33.4×44.2

彫刻 E・バルラッハ「ロシアの恋人たち」1908(1940 鑄造)

ブロンズ 23.9×42.1×31.6

「日本の美術」

日本画 菱田春草「放鶴」1904 絹本彩色 軸 81.8×49.1

日本画 吉川霊華「逍遙(天平美人)」1904 絹本 水墨 淡彩 軸 140.0×84.0

日本画 森田沙伊「髪」1938 紙本 着色 二曲一隻屏風 177×211

日本画 横山操「富士山」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「川」 1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「ウォール街」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「春」 1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「城」 1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「ゴンドラ」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「ナイアガラ」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「グランドキャニオン」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「マンハッタン」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「長城」 1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「オランダ」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「エッフェル塔」1966「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「富士山」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「雪国」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「桜島」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「水郷」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「鯉のぼりのある風景」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「奥入瀬」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「夏の海」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「白い壁」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5

日本画 横山操「月」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「林の道」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「夕焼け」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「冬山」1967「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「紅白梅」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「ノートルダム」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「武蔵野」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「利根川」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「丘の大樹」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「丘の街」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「信濃路」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「考える葦」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「十五夜」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「紅葉」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「秋色落日」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
日本画 横山操「冬日和」1968「中央公論」表紙絵 36点 紙本彩色 19.7×21.5
洋画 マナブ間部「であい」1980 油彩キャンバス 180.0×200.0
洋画 マナブ間部「夜明けの幻想」1986 油彩キャンバス 180.0×200.0

「新潟の美術」

洋画 三輪大次郎「睡蓮の沼」ca.1900-10 油彩 板 33.0×23.6
洋画 三輪大次郎「米を洗う女」ca.1900-10 油彩 キャンバスボード 33.0×23.6
洋画 三輪大次郎「高原の朝」ca.1900-10 油彩 キャンバスボード 23.8×33.3
洋画 三輪大次郎「秋の森」ca.1900-10 油彩 キャンバス 24.0×33.3
洋画 三輪大次郎「莓」1966-67 油彩 板 23.3×32.9
洋画 田畑あきら子「作品」1966-67 油彩キャンバス 145.5×111.2
工芸 吉田醇一郎「飾り衣桁」1938 漆 蒔絵 148.5×206.0×29.0
写真 蕪木研爾 流氷「オホーツク」4点
写真 蕪木研爾 樹氷「奥飛騨」4点
写真 蕪木研爾 池田満寿夫「般若心経」4点
写真 蕪木研爾「炎城」野焼き 1991 39.7×49.6
写真 蕪木研爾「炎城」陶 1991 29.8×39.8
写真 蕪木研爾 雲海 1992
資料 蕪木研爾 動華一千両 1994

・野外彫刻設置事業

平成9年度は第2次計画の2年目にあたり、作品設置の年である。

4/18 検討委員会(マケット審査)

5/23 松井紫朗氏来館 設置位置の確認

5/28 青木野枝氏、竹田康宏氏、舟越直木氏来館 展示位置確認と基礎打合せ

9/27 竹田氏来館 基礎打合せと位置決定

10/1 青木作品、竹田作品の基礎位置について業者と打合せ

10/2 舟越氏来館 基礎打合せと位置決定

10/6 松井氏来館 基礎打合せと位置決定

10/7～10/24 各設置箇所の基礎工事

10/30 舟越作品の搬入設置

11/7.8 青木作品の搬入設置

11/15 松井作品搬入 11/16-17 作品設置

11/18～竹田作品設置開始～12月中旬完了

調査・研究

・研究紀要の発行

収蔵作品について、あるいは各展覧会においての学芸員の個々の研究成果をまとめ、研究紀要を発行した。

「第3号」内容

・デューラー〈1500年の自画像〉

前川誠郎(当館館長)

・日本美の再考—間の芸術とイメージ

親跡 峻(当館副館長)

・研修

第8回近現代美術専門研修会(第2年次)

会期 平成10年2月16日(月)～2月20日(金)

主催 文化庁 京都国立近代美術館

会場 京都国立近代美術館

参加者 桐原浩 美術学芸員